



進路だより



令和7年10月31日発行
進路だより 第6号
茨城県立結城特別支援学校
進路指導グループ

第Ⅱ期現場・校内実習が行われました。

9月16日(火)～9月30日(火)までの10日間で、今年度の第Ⅱ期現場実習が行われました。第Ⅰ期同様、高等部に在籍している1年生が進路週間(『働く』について考える)や校内実習を行い、2・3年生が現場(企業や福祉施設)での実習を行いました。現場実習では、30の福祉施設、15の企業にご協力をいただき、無事10日間の現場実習を終えることができました。



高等部1年生は、普通科は校内実習、ビジネス・ライフ科は進路週間と校内実習を行いました。普通科の生徒は校内実習として、企業や福祉施設から提供していただいた年賀状の袋詰め作業や、部材の分解作業などの軽作業に取り組みました。ビジネス・ライフ科の生徒は、1週目に企業『コマツ小山工場』と『カーメイト』の工場見学をさせていただき、障害者の方々が実際に働いている現場を見学させていただきました。また、福祉施設『サンフラワーワークセンター』の施設見学にも行き、A型・B型・生活介護の作業やグループホームの施設も見学させていただきました。見学後には、隣接されているレストランで食事いただきました。2週目からは校内実習として、結城市役所や結城市商工会議所から提供していただいた封筒の三つ折り作業やガチャガチャの組み立て作業、企業や福祉施設から提供していただいた年賀状の封入作業や部材の解体作業等を行いました。



今回ぜひ紹介したいのは、本校では現場実習を終えると、実習報告会という発表会を開催しています。今回の実習を振り返り、自分でスライドを作成し、みんなの前で実習の成果と課題を発表しています。さらに企業で実習をした生徒は、発表後に高等部生や中学部生からの質問に対して自分の言葉で回答をする質疑・応答の時間が設定されており、緊張感のある中で報告会を実施しています。人前に出て発表することに苦手意識がある生徒も、この経験を繰り返すことで、少しずつ声の大きさも大きくなり、しっかり前を見て発表できるようになります。



卒業生講話に本校卒業生2名が来てくれました。



令和5年度卒業生の2名が来校し、高等部ビジネス・ライフ科1年生に向けて講話を行っていただきました。古河市の三桜工業と栃木県小山市のコマツ栃木工場にそれぞれ就職した卒業生は、『働くってどんなこと？社会で輝くために今しておくこと。』というテーマで、これまでの経験を踏まえて後輩に向けて伝えてくれました。今回の卒業生講話では、後輩からの質疑・応答の時間もあり、後輩たちからの質問に対してとても参考になるやりとりがありましたので、ご紹介いたします。



会社(作業)で気をつけていることは何ですか？

それは『安全』です。僕の会社では一番大事なことです。会社の中を車やフォークリフトが走っているので、横断歩道を歩く際には、必ず指差し確認をします。車両の部品を作っているのです、ミスを見逃さないこと、キズがないか細かくチェックすることです。



学生と社会人との違いはなんですか？

社会人になると、体調管理をしっかりすること、ルールを守ること、責任をもって作業することが大切になります。また、社会人になると自由な時間は少なくなるので、学生時代にたくさん楽しんだほうがいいです。



学生時代に身に付けておいた方がよいことはありますか？

それは『敬語』です。会社にはさまざまな年齢の人が働いているので、失礼がないように敬語を使えるとよいと思います。あと、学生時代から早寝・早起きを心がけておくと、社会人になってからも体調管理ができると思います。



新しい福祉施設のご紹介

学校に開所のご案内をいただきました事業所をご紹介します

サービス	施設名	所在地	電話番号
就労継続支援 B 型	ラブリー	栃木県下野市柴 1133-17	0285-37-8114
生活介護・就労継続支援 B 型 共同生活援助(グループホーム) ショートステイ	多機能型事業所 あおぞら	栃木県小山市寒川 1495-3	0285-37-8341

(提供するサービスと施設名、連絡先のみとさせていただきます)

この他にも、いろいろな福祉施設からパンフレットやイベント情報等のお知らせが来ています。ぜひ、学校にお立ち寄り際には、正面玄関付近に掲示してありますので、パンフレット等をご自由にお持ち帰りください。